

七夕のつどい

7月7日（月）

お誕生会の後、みんな集まって「七夕のつどい」をしました。先生劇団による「たなばたものがたり」が上演されました。



織姫と牛飼は、とても頑張り屋さんで、毎日一生懸命働いていました。天帝が引き合わせた2人は結婚しました。ところが、結婚してからは遊んでばかりで、お仕事をしなくなってしまったので、天帝は悲しんで、2人をむりやり引き離してしまいました。

気落ちして泣いてばかりの2人に天帝は「もとどおり働くならば、1年に1度だけ会えるようにしてやろう」と言い渡しました。心を入れ替えた2人は懸命に働き始めました。

やがて待ちに待った日がおとすれました。広い天の川をどうやって渡ったらいいかと、うろたえていると、どこからともなくカササギが飛んできて、橋をかけてくれたのでした。

